

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	てあてるの芽 豊橋		
○保護者評価実施期間	令和8年 1月 5日		～ 令和8年 1月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○従業者評価実施期間	令和8年 1月 5日		～ 令和8年 1月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年 2月 23日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	【多機能】 多機能なので異年齢での関わりが多い。	・同じ空間の中で一つの遊びを一緒に楽しむよう取り組んでいる。	・集団遊びの機会を増やしていく。 ・無理のない範囲で活動に参加することで、異年齢での関わりが増えていくようにし、子供たちの距離が縮まるよう療育していく。
2	【活動】 個別活動、集団活動での療育ができる。	・保護者対応等に得た情報(園や家庭での取り組み)を活かし、個別支援課題として即取り入れるよう努めている。 ・長期休み等、放デイの子と一緒に集団遊びをおこなっている。	・課題はやみくもに出さず、現在の子供の発達段階を踏まえて無理の無い、必要且つ適切な支援を提供していく。
3	PT(理学療法士)が居る事で、身体能力の向上・体力向上の療育が出来ている。	・山登りや階段登りを取り入れている。 ・サーキット遊び等で身体の使い方を学んでいけるよう取り組んでいる。	・少しの時間でも体操等を取り入れ、体力の向上を図っていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・家族支援プログラム等の研修を十分に設ける機会がない。	・ペアレントトレーニングについてできる限り努めているが、研修などの機会が中々設けられていない。	・情報を提供したり、参加ができるような配慮をするようにしていく。
2	・保護者会が開催出来ていない。	・仕事や育児をされている家庭が多く、時間の調整が困難になっている。 ・保護者が必要性を感じていない。	・早い段階から予定を提示し調整が立てやすいように努めていく。 ・参加のしやすいような雰囲気作りに努め、保護者会の必要性を発信するように努めていく。
3	・地域交流が出来ていない。	・地域での参加が難しい子もいたり、保護者や地域の人が必要を感じているか微妙なため。	・無理のない範囲内で、出かけ先で交流に繋げていきたい。また、参加が出来そうな地域のイベントや地域交流のメリットが発信できるように努めていく。